

南建第 1039-1 号

平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 殿

南種子町長 名越 修



今後の道路行政についての意見・提案について

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のあった今後の道路行政についての意見・提案を別紙のとおり報告いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①

鹿児島県南種子町

本町の町道は 134 路線、実延長 179,253m であります。改良率 89%、舗装率 89%でほぼ改修されているといえます。

しかし防災上危険性のある路線等ありますが事業の採択要綱等をクリア出来ずやむなく、町単独事業で実施している状況であります。採択要綱を緩和していただければ補助事業で実施出来、苦しい市町村の財政力の強化になるのではないのでしょうか。採択要綱の緩和を要望いたします。現在早めに改良舗装した道路は非常に傷んで維持管理に苦慮している状況であります。特に舗装については補助事業がなく町単独事業で実施するしかありません。補助事業の創設等出来ないのでしょうか、要望いたしたいと思います。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式②

鹿児島県南種子町

○現状

地域が高齢化し過疎になりつつあります。交通対策としてバリアフリー等人にやさしい道づくりを理念に本町も実施しているところです。今までは自分たちで利用している道路は自分達で管理して行こうという考え方が地域に根付いておりました。しかし高齢化となり草刈り等行政に頼らなくてはなりません。又、若者もボランティア意識が薄れてきて高齢者と若者とのコミュニケーションもないのが現状であります。

○課題

今後も道路整備も必要ですが、いかにして地域の活性化を目指すためにはどうすればよいか。道路事業の枠内での環境整備が課題と考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２地域の目指すべき将来像

様式③

鹿児島県南種子町

地域が生活道路として利用している道は非常に重要であります。公共施設へのアクセス、防災等時の連絡道として役割はなくてはならないものであり、地域と行政との関わりを重要としていかなければなりません。地域自ら活性化を図り道路への理解を深めるべきだと考えます。